

箆

会報 2019 No.30

東京府立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会

今年も集まろう！ 青春の地 竹早に



リ バ テ ィ レジェンド レガシー 特集 77 期 竹早の自主自律、伝説、そして遺産

2019 年箆会総会・第2回ホームカミングデーの ご案内.....	2	箆寿会・シニア会・校歌祭	10
第1回ホームカミングデーレポート	3	竹早祭参加・湘南箆会・関西箆会	11
77 期 竹早の自主自律、伝説、そして遺産	4	奨学生認証式・竹早生の進路・TDC 等	12
部活動 OBOG 会紹介.....	7	箆会理事会報告	13
特別セミナー・校外授業「人間と社会」への協力	8	箆会広報活動の今後	14
		箆会新ホームページ紹介	15

第2回 竹早高校 ホームカミングデー

ワカタケる 2019 ～いつまでも若く楽しく健康で～

お誘いあわせの上ぜひご参加ください。

6月23日(日) 11:30受付開始

会費 1,000 円 (当日受付でお支払いください。中学生以下無料)

箕会総会 12:00 ～

新人歓迎ランチ交流会 13:00 ～

各種イベント 14:10 ～

フィナーレ (17:00 終了予定)



大好評の**就活応援セミナー**をはじめ、**ミニアートワークショップ** (消しゴムはんこ、ハーバリウム)、**タケハヤ謎解きクロス® ウォーク** (校内ツアー)、**卒業アルバムの50年分**一挙大展示、大河ドラマ「いだてん」出演の吹奏楽部演奏、茶道部お点前、バレー部総会等。フリー談話室も用意します。あの有名な**金栗たび (レプリカ) の展示**もあります。

詳しいプログラムは専用サイト(<https://wakatakeru.jimdo.com>)にて公開しております。

出席の申し込みは上記専用サイトからWebエントリーいただくか、同封されているはがきを返送ください(いずれかで**6月10日まで**)。

事前申込なく参加できますが、受付は15:00で終了します。



友だちと仲良く



家族でいっしょに

主催 **箕会** <https://takamura-kai.com> 幹事年: **77 回生学年幹事会**

協力 東京都立竹早高等学校

終了後、各クラス・同期会、部活 OBOG 会の開催は自主開催となります。名簿のご入用は、takamurakai@gmail.com まで。

第1回ホームカミングデー「ワカタケル」レポート

2018年6月24日、卒業生161名と部活参加の現役生120名による、竹早高校同窓会・箎会史上初めてのホームカミングデー「ワカタケル」が開催されました。総会では滞りなく決算案・予算案ともに承認いただきました。また今回初めて大学生理事も誕生し、フレッシュな雰囲気の中、地下ホールでランチ交流会を行いました。卒業生の作ったリンゴジュースやご寄付によるドリンク・フード類、青春の思い出もよみがえる、文京区の老舗の味とともに、世代を超えて楽しい時間を過ごしました。就活応援セミナーはじめ、現役生の部活協力や76回生の奮闘による各種イベントも盛況でした。関係者の皆様の御協力に感謝申し上げます。



箎会会長 篠辺 修(ANAホールディングス株式会社取締役 副会長)

何事も初めてというのは色々考えがちなですが、第1回ホームカミングデー・ワカタケルでは大勢お集まりいただき、杞憂が吹き飛びました。また、大学生をはじめ、総会にはなかなか足を運ばれていなかった世代の交流が実現しました。

今年も、青春の地・竹早で楽しいひと時を過ごしましょう。

箎会名誉会長 小林 正基(竹早高校校長)

生徒の日々の学校生活を見ると、明るく、とても仲の良い雰囲気を感じます。先輩たちから培われてきた校風の中、生徒を「まっすぐ・たかく・しなやかに」伸ばすべく、生徒の教育活動の充実に全力で取り組んでいます。2020年には創立120周年を迎えます。箎会の皆様にも、在校生を温かく見守っていただくとともに、一層のご支援をよろしくお願いします。



新人歓迎ランチ交流で118回生を代表してあいさつする、元生徒会長の堤谷美柚さん

「微力ながら箎会活動を盛り上げていきたいと思っています」



初の大学生理事

大森美樹さん(116回生)と東島粋生さん(117回生)が活躍中



フィナーレの校歌斉唱では、思わずウルウルしてしまう人も…



76回生・幹事学年のチームワークでやり遂げました

77期竹早の自主自律、伝説、そして遺産

聖き樹冠^み仰ぎ、三つの春秋^{はるあき}を謳歌彷徨^ばせし、善き心延えの徒輩^{ともがら}、嘗て交わした契約の言葉によりここに集うものなり。我汝等に責務を与う。

汝未熟な船乗りなりき。克己し灯標無きわだつみに漕ぎ出でる勇猛果敢。揺り籠にて聞きし歌声や如何に。

幾たびなる哉、海原の怒り買う民びとの野心、贖えぬ海溝の咎、セイレーンの誘惑。挫かれし航海の志気奮い立たすは同胞の友愛、伝説の師の教えや如何に。

汝何時しか夢の風読む熟練の操舵手となり帰還す。名も無き碩学^{せきがく}なお心休まらぬ世の道標^{みちしるべ}にならんと欲す。汝の寸鉄即ち我が民の遺宝^{いづ}とならん。頑^{がん}是無き純情纏う新しき冒険者の導き星となれ。

A 組「思いっきり自由を享受しつつ、その自由に思いっきり翻弄された3年間」

竹早生は皆大人だった。高校3年のある日、遅刻寸前のホームで会った中学時代の友人（開成生）を連れて学校に行き、他のクラスも含めて数時間授業を受けさせたことがあった。小野先生の授業では、政経の教科書を彼に貸して自分は世界史を自習していたところ、「おっ、政経で受けるのか、感心感心」と小野先生がニコニコと友人に話しかける。「はいっ！」と元気に答えても、クラスメートは大笑いもせず、チクリもせず温かく見守ってくれた。

I のこと、岡先生のこと クラスメートのIは、家庭の事情などで出席数が足りず卒業できなかった。

特に厳しくもなく、甘くもなく飄々とした印象の岡先生だったが、在学中もIの相談にのり、高校終了後もいつまでも心配して連絡を取り合っていた。その後Iは22歳で大検を取り、翌年の入試で青学に入学。4年後に就職活動をするも既に26歳。一般企業が門戸を閉ざす中、なんと最難関の「朝日新聞」に大逆転入社。

I曰く「その後立ち直った自分のことを岡先生はわが事のように喜び、わざわざ赴任先の新潟までご家族とともに会いに来てくれて、結局奢られてしまったことが忘れられない。心優しい先生だったなあ。」

（清水保志）



（秩父鉄道、御花畑駅にて：筆者は左から2人目）

B 組「こころのゆとり、そして自立心の源泉」

昨年、お互いの還暦を祝う同期会があった。卒業から40年以上経ち、当時かなり年上に思えた先生方の年齢を既に超えていることに我ながら驚いている。

その間、世の中は凄まじく変化した。パソコン、スマホ、インターネット、SNS等、当時は影も形も無かったものが今の世の中では無くてはならないものとなっている。これからも変化は止まらないだろう。

振り返ると、このような世の中の大きな変化にさほど苦勞なく対応できたのは、竹早高校で自由な校風による教育を受けた成果と言ったら褒めすぎだろうか。

確かに、制服もなく、球技大会や竹早祭なども生徒が中心となり自主的に運営した。私も良い先生方や友人に恵まれ、勉強とバレーボール部で、文武両道、今風に言えば

二刀流の伸び伸びとした高校生活を過ごさせて頂いた。

在校生をはじめ、これから社会に出る皆さんには、竹早高校で養われた自立心、先生からの教えを生かして、是非とも、各々の人生における夢を実現してもらいたい。同期会で聞くそんな友人達の頑張りは私の励みになっている。（北村健史）



（B組集まれ！77年卒同期会にて：筆者左端）

C 組「前人未踏の領域に挑む」

私は竹早卒業後、細胞生物学者となりました。私の研究テーマであるオートファジーは、共に分野を切り拓いてきた大隅良典先生（現東京工業大学栄誉教授）が 2016 年にノーベル生理学・医学賞を受賞され脚光を浴びました。しかし、大隅先生と私が一緒に研究を始めた 1996 年当時には、誰も見向きもしないマイナーな分野でした。役に立つか立たないかも全く判りませんでした。我々はそんなことは全く気にせず、この謎に満ちた細胞の営みを解き明かすことに全身全霊を捧げていました。

研究の世界では、人まねではなく自ら道を作ることが極めて重要です。昨年 10 月に竹早の同期会で講演したおりに在校生の父兄の方から、「竹早にいなかったら違う自分になっていたと思うか」という質問がありました。私は竹早在学中お世辞にもまじめとは言えず、授業をサボって喫茶店に入りびたったりしていましたが、この質問には即答出来ます。私の研究者としての自由で自主自律の精神は明らかに竹早で育まれたと。

大隅先生と共に育てたこの分野は今、医学応用の可能性が出てきて世界中の注目が集まっています。そうなのです、当初役に立つか立たないか判らない研究からこそ大きなインパクトのあるイノベーションが産まれます。現在私はそれを証明すべく医学研究に邁進しています。（吉森 保）



（ノーベル賞受賞式にて大隅教授とともに）

D 組「友と竹早」

学校群制度の犠牲者だと感じつつ入学した竹早高校であったが、そこで出会った多くの仲間や、その仲間と共に過ごした高校生活は、私にとってかけがえのない宝物である。卒業して 40 年以上が経過しているが、今でも当時のことを鮮明に思い出すことができる。

文化祭での「祭」。樽神輿に乗せられ校舎内外を練り歩き、もぐりの屋台が営業停止処分を受けたこと。球技大会で「優勝」を目指して必死に戦ったこと。限られた時間と空間の中で部活動に汗したこと。授業を担当してくださった先生方の思い出。

この原稿に字数制限がなければ、際限なく続きそうだ。また、大人への入り口で背伸び、失敗したこともたくさんあったような気がする。

当時の私達を放牧された牛に例えるなら、牛舎である竹早高校を中心に、池袋、大塚、本郷、後楽園を含む広大なエリアを牧草地として、仲間と共に思い思いに草（知）を得、体を鍛え、心を磨き、何かにチャレンジし、時に冒険していたようなものだ。竹早高校は、そのような私達をいつも暖かく包み込んでくれていた気がする。だからこそ、人として最も大切な生きる術を身に付けることができたのだと、今改めて思う。（宇田川信次）



（2018年10月27日77年卒同期会：筆者は右から2人目）

E組「君だけの、花を咲かそう」

竹早での思い出、それは中学の成績は良かったはずなのに竹早では劣等生になってしまったこと。みんな頭が良かった。特に文京区の人には成績がよく、私が育った板橋区は辛かった。そんな私にひょんな事から竹早の在校生を相手に就職ガイダンスに近い特別セミナーの依頼が来た。俺でいいのか？なんて思いつつ3年間務めさせていただいた。広告代理店に勤務していたのでタイトルは「クリエイターの仕事。劣等生がクリエイターになった訳」。タイトルの奇抜さからか、多くの生徒が参加してくれた。おそらく成績が思うように伸びず将来の自分に悩んでいる生徒もいたからだと思う。伝えなかった事はSMAPの「世界にひとつだけの花。ナンバーワンよりオンリーワン」。つまり、成績が一番じゃなくてもいい。人それぞれの個性を活かし、何かで輝く自分を目指せばいいってこと。

竹早のいいところは、公立らしい多様性とそれを自己責任で許容する自由な気風なのではないかと思う。我々の世代も実に色々な個性が集い、同窓会やE組クラス会で再会してみれば、みんな其々に生き生きとして尊敬できる生き方をしている。その源は竹早に在籍していた小さな誇りと、自分の才能を信じ、いずれ開花させる大きな力があることではないだろうか。日比谷から東大に行った会社の役員に「お前、竹早だったな」と言われ競合チームに抜擢され勝利したことを思い出しつつ。

(松坂克雄) (今でも時折集う仲間たちと清水邸にて：筆者は写真中央奥)



F組「キャラが立った先生方に囲まれて」

“個性が光る先生方”に囲まれて過ごした高校3年間だったと思います。今流に言えば、“キャラが立った先生方”といったところでしょうか。少なからずその影響を受けて、今の自分があると思います。

紙面の関係で多くの先生方の思い出は書けませんが、例えば、数学の宮尾先生。数学の不思議さと美しさを身体全体で表現し、勢い余ってチョークが黒板からはみ出し、壁に図を書かれました。が、先生は全く気にしません。先生は「数学通論(整数論)」という独自の科目を作ってくれました。私は先生の不思議な魅力にハマリ、理科系でありながら受験必須の「数学Ⅲ」ではなく「数学通論(整数論)」を受けました。今でも、先生手作りの教科書を持っています。手書きのガリ版刷りで、わら半紙印刷です。ですが、その中身は、大学の数学科の専門科目の内容です。授業は当然難しかったけれど、必死でついていって、結論にたどり着くと“へえー、不思議だ!?”と幾度となく驚かされました。

今、私は、大学で情報工学の研究を続けています。分野は違いますが、ときおり先生の手作り教科書を開きます。新たな発想や考え方のきっかけがつかめるからです。(安永守利)



筆者近影



(2018年10月27日77年卒同期会、茗溪会館にて)

(構成：青山俊也)

部活動OBOG会紹介



陸上部創部60周年同窓会

前回から2年ぶりの7月15日に陸上部設立60周年を祝って同窓会が開催されました。会場は建設中の新国立競技場を臨むレストランで、創立メンバーだった世代を筆頭に17人が参加しました。

陸上部創部当時は後の部員活躍の場だった霞ヶ丘競技場はまだなく、第2次世界大戦中に学徒出陣の壮行会が行われた明治神宮外苑競技場だったと伺い、歴史を重く感じた次第でした。また6月24日に実施されたホームカミングデーで展示のあった金栗四三先生をモデルにした大河ドラマ「いだてん」にOBのひとりがエキストラ出演したことなど話題も尽きず、来年2019年「いだてん」記念ないしは2020年東京オリンピック応援での再会を誓って盛会で幕を閉じました。

陸上部OB会では名簿の整備を進めていて、特に若い世代の皆様への声掛けをさせて頂いています。次の機会には更に多くの皆様のご参加をお待ち申し上げています。(赤木宏充 1976年卒)



OB新年会を開催しました

新年1月12日(土)に、約1年半ぶりに軟式テニス部のOB会を開催いたしました。今回は恒例の71年卒、72年卒、75年卒に加え新たに、現在竹早高校教諭で軟式テニス部顧問である77年卒の青山さんも参加しました。

この集まりは、75年～77年卒が高校生で会った頃に、丁寧に、時に厳しく指導してくれた先輩方の代との交流会です。なので、初めての参加の方もすぐに会話に溶け込み、和気藹藹と、半世紀近く前のテニスの練習の話、近況報告、老後の相談など、多彩な話で盛り上がり、3時間飲み放題の時間も、体調不良を訴える方は無く、アハハおほほで、あっという間に過ぎて行きました。

そして高倉先輩(笹会副会長)の、丁寧な前説と熱のこもった一本締めで来春の再会を一同誓い終宴となり、帰路につきました。

(福田博文 1972年卒)



「故大石力先生を偲ぶ会」によせて

去る12月1日、毎年恒例になっている竹早バレエ部「大石先生を偲ぶ会」が茗荷谷某居酒屋で行われました。今年は大石先生が亡くなられて23年目となり、昼間は23回忌の法要に77年卒の甲斐氏とともに出席させていただきました。同じく出席されていた山崎高校のOB三方と、お互い大石先生との思い出を語り合ううち、話題は尽きることなく時間のたつのも忘れて、貴重な時を過ごしました。夜の部は73年卒～78年卒の女・男バレエ部卒業生30余名が集まり、いつものように高校時代の話と親の介護、定年後の過ごし方などの話題で大いに盛り上がりしました。74年卒の方から「飲んで昔話をするのも悪くないけど、それだけでなく何かみんなで行こうじゃないか」とお声かけがあり、往年の合宿地「湯沢」に行ったり、高尾山でハイキングをしたりとその行動範囲は年々拡大しつつあります。みなさん元気いっぱい！現役の高校生の皆さんもOG・OBに負けないように青春を謳歌してください。(江里口肇一 1976年卒)

笹会では、縦横のつながり 交流を支援します

部活動のOBOG会など、世代を超えての交流がより活発になることを願って、ご希望があれば名簿情報等可能な範囲で提供いたしますので、お問い合わせください。また、交流会開催後に、ぜひ写真と200字前後の原稿をメールでお寄せください。会報に掲載させていただいた交流会には笹会より5000円分の商品券を差し上げます。

バレエ部OBで元理事の林義昭(69年卒)様が1月20日逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

2018年度特別セミナー

No.

Date

2008年に始められた特別セミナーは今回で11回となります。これまでの実績を公式に認められ、今年度から必修科目に格上げされ、2時間の授業として認定されたことになります。

今回は7月19日(木)の5～6時限に1年生を対象に実施しました。

「後輩たちに自分が過ごした高校時代の模様と社会に出

てからのキャリアについて話したい」という熱心な14人の講師陣には、事前ガイダンスをしてもらい、「保護者とも話し合って受講したい講座を選択するよう」1日おいて希望票を提出してもらって調整し、下表の通り特別セミナーが実施されました。

講師のみなさんには、事前準備を含めご尽力いただきありがとうございました。

文理の別と職業		講師（敬称略）	セミナータイトル	受講人数		
				5 時限	6 時限	合計
理系	外資系銀行	水田 茂夫	留学と海外への就職	24	17	41
	大学教授	吉川 弘道	土木工学が築く日本のインフラストラクチャ	13	12	25
	香料会社	湯浅 良文	香りと味の合成、薬からフレグランス・フレーバーへ	21	21	42
	ソニー～楽天	宮沢 和正	ソニーから電子マネー「E d y」開発秘話	30	30	60
	医師	久我 芳昭	モラトリアム理系から医学部へ転進して	20	25	45
	薬剤師	佐々木 章子	調剤薬局の薬剤師の役割	21	18	39
文系	商社	福田 圭馬	商社の仕事を通じて世界と繋がる	24	25	49
	時計メーカ	竹内 則夫	筋金入り私大文系が「ブランド」で身を立てるまで	7	12	19
	Y M C A	柳原 みずき	お金ではない「価値」のために働く	9	8	17
	国家公務員	廣瀬 愛子	国家公務員・外交官について	16	18	34
	アラビア語コンサル	岩口 龍児	私の留学／モロッコ・スーダン・イエメン	5	6	11
	中学校教員	川戸 直美	うちは教育しか残してやれない	13	11	24
	歌手	しゅう さえこ	好きなことを仕事にすること	11	14	25
	広告代理店	吉田 賢治	こころが聞こえる耳を持とう	26	23	49

特別セミナー終了後、受講した講座の内容等について生徒に感想を記入してもらいました。アンケートに記載された主な感想は、以下の通りです。

【全般について】

- 普段、学校や家で聞けないような貴重な話を聞くことができて良かった。
- 大先輩たちが自分たちのために、準備して体験などを聞かせてくれて嬉しかった。
- 竹早を卒業した先輩だということで、身近に感じながら話を聞くことができた。
- 夢や好きなことに向かって努力する、初志貫徹という重要なことを教わった。
- いままで知る機会のなかった職業の内容、就く職種の多彩さを知ることができた。
- 留学することや、海外で仕事をしたいという気持ちが強まった。
- セミナーで聞いた内容について、現場を見たり、実際の活動を経験したいと思った。

【勉強について】

- 将来に向けて頑張ろうという気持ちが湧き、夏休みは勉強をしっかりとやろうと思う。
- 英語の勉強法を教えて頂いたので、これを活かして英語力を上げるための努力をしようと思う。
- 目標を決めた後、これを実現するための努力の度合いを聞き、自分も実践しようと思った。
- 専門的な職業を目指すことは、大学入試も大学に入ってからでも半端ではないことを知った。(以下略)

2019年度も、引き続きセミナーを実施予定。今年度よせられた意見を採り入れ、同数程度の講師陣を用意し、バリエーションに富んだセミナーを実施したいと考えています。(中村光宏 1971年卒)

竹早の大先輩たちの職場を訪ねて ～校外授業「人間と社会」への協力

昨年から「総合的な学習」の中の「人間と社会」の授業に、卒業生の事業所を訪問する企画を始めました。夏休みの期間に今年は7ヶ所で1年生の半数が見学しました。その中から参加した生徒の感想文を紹介します。

ANA 訪問記

1年F組 中条明香さん

今日はANAの見学という貴重な機会を、ありがとうございます。空港の裏側を見ることができて、とてもわくわくしました。

私は、空港はいつもピリピリしているんだろうな、というイメージがありました。しかし、実際に行ってみると、とても和やかな雰囲気で、職員さんたちがほどよい緊張感とともに仕事をしているのが感じられました。リラックスする所はリラックス、集中するときは集中とゾーンによつての切りかえがとてもあると感じました。また、産休育休の高い取得率や、やる気アップのためのカードなど、本当に働きやすそうな、働いて楽しそうな職場だと思いました。間近で見た飛行機もとても印象に残っています。あんなに大きな機体を飛ばすのに少しのミスも許されないと聞き、とても繊細なものだと感じました。

ANAに行けて、本当によかったです。今度はぜひ、ANAの飛行機に乗ってみたいです!!



キリンビール横浜工場訪問記

1年C組 中村謙介さん

今回このような機会を設けていただき、ありがとうございます。様々なことを得ることができました。今回の工場見学でキリンビールの方々のお話を聞いて、より良いものを作るために試行錯誤を重ねている方々の思いや大変さにふれることができ、そのためのアイデアや努力を惜しまない姿勢には心を打たれました。さらにそれだけでなく、SDGs (Sustainable Development Goals) への貢献のためのさまざまな活動もされていて、直接の利益になることだけをしているわけではないことを私は初めて知ったので驚きました。直接お客さんとは関わらなくても、お客さんを幸せにされている仕事をされている方のお話を聞くことができるというとても貴重な経験をさせていただき、将来のことを考える参考になりました。



その他の訪問先



JR 東日本 安全研究所



JXTG エネルギー川崎



東京大学 農学部



東京大学 水圏天然物化学研究室

今回の「人間と社会」の協力企業・機関と卒業生は次の通りです。

全日本空輸羽田・篠辺会長
JR 東日本 (安全研究所及び新幹線車両センター)・古山理事
東大大学院農学生命科学研究科水圏天然物化学研究室・松永理事
JXTG エネルギー川崎・古関前会長
キリンビール横浜工場・西村様 (キリンホールディングス副社長)
シチズン時計東京事務所・竹内様 (シチズン時計常務)

猛暑のなかご尽力いただき、誠にありがとうございました。

117回生の篁寿会取材記

2018年の篁寿会は10月14日(日)、学士会館にて行われ、41回生の松本元会長を筆頭に85歳から94歳までの、29名の方々が集いました。

19歳の私にとっては祖母と孫以上の年齢差のある大先輩達は私に、若さの秘訣は「好きなことを続けること」であると教えてくれました。70歳を過ぎてからドイツ語の学習を始め、今度の春にはドイツ語検定1級に挑戦される方や高校時代から94歳の今まで音楽を続けられてきた方など、「好きなこと」が生き甲斐になり、学び続けることが溢れる若さに繋がっているのだと感じました。

大学生活の真只中にいる私も、大先輩達と同じように生涯にわたって続けられる「好きなこと」をこの4年間で見つけられたらと思います。(東島粹生 2017年卒)

今年の篁寿会は10月5日(土) 学士会館で開催されます



松本元会長(41回生)のご挨拶でスタート



第1回シニア会開催

2018年9月29日に、学士会館で第1回の集まりを行いました。篁55回から71回まで、65歳から81歳まで、元気に総勢44人が相集い、楽しいひと時を過ごしました。



第2回のご案内

対 象： 71回生まで
日 時： 2019年9月28日(土) 12:00開宴
(受付は11:30から)
会 場： 第1回と同じ「学士会館」
会 費： 7,000円(当日会場でお支払いください)
お申込： 8月末までに同封のはがきか
下記メールアドレスへ
takamurasenior@gmail.com
(ご意見ご質問もこちらへメールで
お願いいたします)

(佐藤美紗子 1964年卒)

東京校歌祭へ参加～校歌を歌い継ぐ会+現役コーラス部

11月3日、第26回東京校歌祭に在校生6名と卒業生13名で本当に楽しく校歌を歌ってきました。開会式



杉並公会堂大ホール・今年は10月27日(日)同ホールで開催予定

は、在校生の黒須士元さんが誇らし気にプラカードを掲げて入場。各校の並み居る大先輩の中で一際黒須さんの若さが輝きました。また、校歌斉唱でも在校生が頑張ってくれ、卒業生との「老若チーム」での参加で、お互い力を合わせて大成功を納めた楽しい校歌祭でした。

〈指揮とピアノ伴奏〉

第二高女の校歌

【指揮 石原千遥さん/ピアノ 杉本小百合さん】

竹早高校の校歌

【指揮 黒田忍さん/ピアノ 奥山結衣さん】

(高橋政行 1973年卒)

「箏会お休み処」

(2018年9月8日、9日開催竹早祭へ出店)

竹早祭一日目、朝から、暑い日差しが照り付け、開始の放送と同時に「竹早生」が集団で「暑い〜！」と飛び込んできました。クラス劇の衣装に身を包み、どうやら朝のひと練習、いやふた練習か!?を終えたところらしいようす。「冷たいお茶、麦茶、レモンティ、キリンレモン、ホットコーヒー、ございます〜。」元竹早女子の少し太くなった声!!きらきらのラメ衣装の現役竹早生が放つ「ありがとうございます。」の言葉がキレッキレで気持ちよく、「頑張って!」と送り出すと、次は見学の保護者や子供たちがのどの渇きを潤しに訪れます。「孫のダンスが楽しみです。」「お姉ちゃんの応援に来た!」様々な人が、足を休めてのどを潤していきました。午後一番には食後のコーヒーとビスケットをつまむ人が多く、そのころになると冷たい炭酸飲料が底をついてきました。2日間で、延べ1400人の方にご利用いただき、任意の寄付金は総額21,103円となりました。箏会教育基金として活用されます。



一年生男子生徒が、「この間の特別セミナーの講師の先生ですよね。すごく面白くてためになりました。」と話しかけてくれました。これもまた、うれしく、お休み処は世代を超えた交流の場であることを実感した2日間でした。

(川戸直美 1974年卒)

*今年の竹早祭は9月7日(土) 8日(日) 開催予定です。竹早塾(卒業生による在校生への学習支援組織)と合同開催となります。どうぞお出かけください。



湘南箏会だより

平成30年5月10日、総会・懇親会を、例年通り「鎌倉プリンスホテル」で行い、本年は、本部から新・旧両会長にご出席いただきました。懇親会では、トランプ大統領下の米国事情、昨今の経済情勢など、何時もとは違い世界情勢に関する話題が中心となりました。

なお、今年度の総会・懇親会を、5月14日(火) 12:00より「鎌倉プリンスホテル」で行います。地域外の方も奮ってご参加ください。



関西箏会だより

平成30年度関西箏会総会は平成30年11月28日(水)に例年通りホテルグランヴィア大阪で開催されました。今回の出席者は7名で残念ながら減少傾向に歯止めがかかりませんでした。

来年からの方針について出席者の皆様で相談した結果、定期的な総会は今回で休止とし、不定期の懇親食事会のような会合で会を継続して行くことに致しました。

最後に箏会の益々のご発展をお祈りします。

(関西箏会 幹事会)



箆会教育基金・奨学生認証式

箆会では在校生への奨学金授与を行い、今年で7回目。在校生の夢の一助にと始まった制度です。厳正な校内選考で選ばれた生徒5名の認証式は2018年7月19日行われました。

《渡邊彩香さん》国際、外国語関係学部に進学し、言語や文化について学びたいです。留学にも挑戦し、学びえた知識を現地で発揮し、深めていきたいと思います。

《佐藤大誠さん》大学入学後、英語と第二外国語を中心に勉強し、世界に羽ばたきたいです。そして、これからの経験を基に世界を多角的に、客観的に観察出来る人間になりたい。

《藤崎花音さん》夢を叶えるために大学で文学を学びたいです。大学生活は未知ですが高校で仲間と取り組んだ行事や過ごした日々での学び、先生方の言葉を胸に頑張ります。

《堀澤大地さん》大学では商学を学びたいです。箆会の方々と諸先輩方、先生方から伺った話であり、社会の流れや取り巻くお金に興味を持つようになったので勉学に励みます。

《山下舞さん》小学生から読書が大好きなので本に関われる出版社に就職したいです。本を読まなくなっていますが、時代を超えて愛される本の魅力を伝えたいと思っています。



新卒・119回生幹事交流会の開催

3月16日に卒業したての学年幹事の皆さんへ、箆会の活動を知っていただく会を開催しました。初めての顔合わせでしたが、終始笑顔の花が咲きました。



竹早高校にて

TDC 無くして青春なし

竹早ダンスパフォーマンス部(愛称TDC)は挨拶や礼儀、学業を大切にしつつ、外部競技ダンス大会での受賞を目標として日々真剣に練習し、技術を磨いています。今年の夏にはダンススタジアム8年連続全国大会出場を果たすことが出来ました。普段の部活動では剣道場と多目的室を使い、奇数週の月曜日と毎週火・水・木・土曜日に活動しています。部員同士の仲も良く、充実した学校生活を送れます。竹早ダンス部に入りたいからという受験生もいます。



2018年度大学合格状況

国公立大学 68名(京都大1、東工大3、北大1、九大1、弘前2(内医学部1)、筑波7、首都大東京5)
私立大学 921名(主要15校)、私学の主な内訳: 早稲田43、慶応12、上智21、青山23、立教39、中央54、理科大40、明治86、法政84、東洋75、芝浦工54名) 昨年より私学は358名増と躍進しました。
頑張れ! 竹早! *詳しくは竹早高校のホームページをご覧ください。

理事会報告

●第1回理事会 6月5日 出席理事 17 名 委任状5名

1) 承認事項

- ・新理事推薦の件（簗74回、廣川州伸氏）
- ・退任理事（簗64回古山浩之助氏）
- ・総会進行次第について

- ・特別セミナー準備について
- ・会報編集委員会編成について
- ・会費納入状況について

1) 承認事項

- ・新理事推薦の件（笹 64 回古山浩之助氏）
- ・笹会報編集委員長に山口順子氏
- ・名簿管理委員に中村副会長、廣川理事、田村理事
- ・活性化委員会活動方針

- ・平成 30 年度 箆会総会・ホームカミングデーの報告
- ・箆会教育基金奨学金認証式の報告（7月 19 日、5 名に授与）
- ・特別セミナー報告（「人間と社会」体験学習への協力を本年より実施）
- ・竹早祭での「お休み処」準備状況
- ・校歌祭参加進捗状況
- ・シニア会準備状況

1) 承認事項

- ・理事会メーリングリストについて
- ・会報誌「簞」と今後の会員アプローチ策検討
- ・「新たな活性化活動」について

- ・竹早祭出店「お休み処」報告
- ・「人間と社会」体験学習の報告（JR 東日本、全日空、シチズン、キリンビール、東大、JXTG）
- ・会報編集委員会より会報 30 号発行要領説明
- ・校歌祭報告（11 月 3 日開催）
- ・小林竹早高校校長より 20 周年行事への協力要請があった。

1) 承認事項

- ・来年度予算案について
- ・広報会議と会報委員会の統合にむけての検討

- ・特別セミナー委員会より高校サイドとの反省会の報告
- ・平成 30 度収支報告書の中間報告
- ・シニア会実施状況
- ・メーリングリスト再構築について
- ・91 年卒業の奥山雅文氏をオブザーバーとして承認。

1) 承認事項

- ・今年度決算報告と2019年度予算案について
- ・笹会会報内容に関する最終確認
- ・新理事推薦の件（笹118回堤谷美柚氏、笹117回仁科広貴氏）
- ・活性化委員会より卒業生の交流会発足および大学生理事の新たな役割
- ・広報委員会設立および広報委員会規程について

- ・次年度総会とホームカミングデー「ワカタケル」の詳細報告
- ・特別セミナー委員会より次回開催に向けて進捗状況の説明
- ・会計監査報告
- ・会報とWebサイトの今後について
- ・活性化委員会による卒業生への算会説明会実施

4月7日 竹早高校入学式に参列
5月15日 竹早高校体育祭を観戦
6月24日 平成30年度篁会総会・ホームカミングデー：竹早高校
7月19日 篁会教育基金・奨学生認証式
7月19日 特別セミナー開催、8月「人間と社会」体験学習に協力
9月8、9日 竹早高校竹早祭に「お休み処」出店
10月14日 第11回篁寿会開催：学士会館
1月19日 新年会：竹早高校、父母と教師の会との合同
3月2日 竹早高校卒業式に参列、16日卒業生幹事交流会開催
3月25日 会計監査実施

篁会 平成 30 年度収支決算(案)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	19,308,141	教育 支 援 事 業	奨学金(特別会計から) <i>300,000</i>
入会金(新入会員名)	2,144,000		教育援助金(特別会計から) <i>50,000</i>
年会費	2,590,628		贈呈記念品費(1、3年) 255,392
受取利息	12		簗会特別セミナー(1年) 110,017
活性化プロジェクト理事負担分	42,000		会報発行費 2,896,363
	4,776,640	活 動 推 進 事 業	竹早祭出店 52,431
			簗寿会(収入224000円) 88,017
			校歌祭 52,942
			学年幹事連絡会 0
			活性化プロジェクト (特別会計から) <i>117,697</i>
雑収入(竹早祭募金)	<i>21,103</i>		総会開催関係費※ 211,721
雑収入(含むTシャツ、その他)	<i>37,000</i>		総務費 151,861
特別会計へ	<i>58,103</i>		Webサイト運営保守 666,144
			特別会計小計 <i>467,697</i>
小 計	4,834,743		小 計 4,952,585
			次年度繰越金 19,190,299
合 計	24,142,884	合 計	24,142,884

特別会計			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科目	金額
前年度繰越金	14,932,107	教育基金：奨学金（3年）	300,000
周年事業基金	1,628,994	教育基金：教育援助金（全学年）	50,000
高女記念碑基金	243,600	活性化プロジェクト	117,697
教育基金	1,059,513	小 計	467,697
教育基金繰入金（雑収入）	58,103		
定期預金	12,000,000	次年度繰越	14,522,513
基金合計	14,990,210	基金合計	14,990,210

篁会 平成 31 年度収支予算(案)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	19,190,299	教育奨学金(特別会計から)	300,000
入会金(新入会員)	1,900,000	教育援助金(特別会計から)	100,000
年会費	3,000,000	贈呈記念品費(1年・3年)	220,000
受取利息	10	鑑会特別セミナー(1年)	120,000
雑収入	100,000	会報発行費	2,700,000
周年行事寄付金※	2,000,000	竹早祭出店	70,000
		鑑寿会	100,000
		学年幹事連絡会	10,000
		校歌祭	60,000
		学年幹事交流会(新規)	150,000
		活性化プロジェクト	50,000
		総会開催関係費	300,000
		総務費	150,000
		Web サイト運営保守	670,000
		Web・HP 管理費	280,000
		120 周年行事補助金※	240,000
		小 計(除:特別会計分)	5,070,000
小 計	7,000,010	特別会計小計	450,000
		予備費	6,597,796
		特別会計繰越金	14,072,513
合 計	26,190,309	合 計	26,190,309

※周年行事在校生御祝品 (2020.11 月)

特別会計			
収入の部		支出の部	
周年事業基金	1,628,994	活性化プロジェクト補助金	50,000
高女記念碑基金	243,600	奨学金（3年）	300,000
教育基金	649,919	教育援助金（全学年）	100,000
		小 計	450,000
定期預金	12,000,000	次年度繰越	14,072,513
基金合計	14,522,513	基金合計	14,522,513

13

箆会広報活動を Web にシフトして行きます。

箆会は、広報活動の一層の充実について二つの方針を立てました。まず、社会的な課題に対応し、「紙資源を大切に地球環境を配慮した活動」とすること、そして、近年若者のみでなく、中高年もコミュニケーションの中心がパソコン、スマートフォンとなってきたため、「Web を効果的に活用する」ことの二つです。これを受けて、広報活動の中心を順次 Web へシフトして参ります。

具体的には、これまで年に 1 回会報誌をお送りしてきた広報活動に加え、ホームページを中心にメールマガジンやインスタグラム、Facebook 等を活用し、タイムリーに、幅広い会員層に、箆会の活動をお知らせして行くということです。

この機会に是非、下の欄の説明をお読みのうえ、メールアドレスをご登録ください。

また、今年度の会報誌について、読みやすくわかりやすいものに改善しようとの方針で編集制作を行いました。文字数を大幅に減らしました結果、16 ページだてとなりましたが、いかがでしょうか？ ご意見ご感想を是非お送りください。

（箆会 g-mail アドレス takamurakai@gmail.com にメールでお送りください）

今後も皆さまにより良く伝わる広報活動を常に考えて具体化して参ります。ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

〈メールアドレス登録方法〉2つの方法があります。

- ① メールアドレス (takamurakai@gmail.com) に 卒業年次 (西暦) とお名前 (フルネーム) をお書き添えのうえ、お送りください。
- ② 右の QR コードから「Web 同窓会システム」にアクセス、ログインして左の「本人情報」から「変更する」をタップ、「PC Email」または「携帯 Email」欄に記入または訂正ください。会員コード (ユーザー ID) とパスワードについては、右ページの「Web 同窓会システムの使い方」コーナーの下段に図示しています。



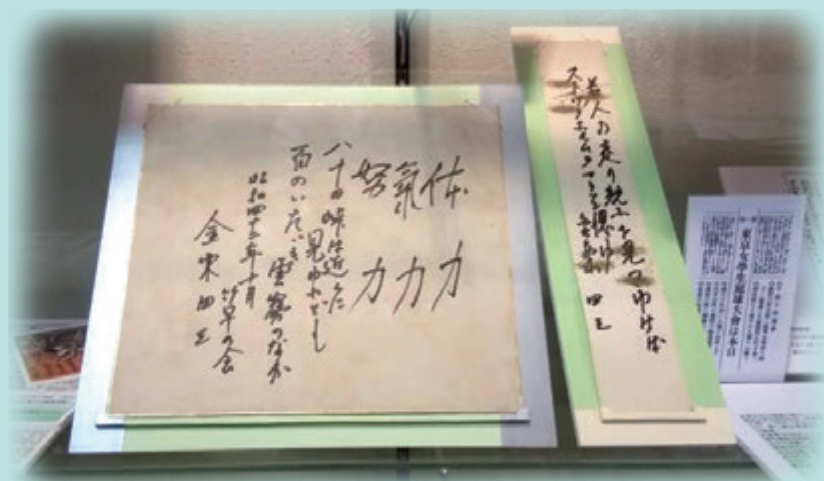
「会費納入」と「120 周年行事寄附金」のお願い

箆会では、在校生の学びの支援活動や、在校生と卒業生および卒業生同士の親睦支援、前掲の Web 化推進など、活動の改善充実を推進して参ります。そのためにも、会費納入を是非ともお願い申し上げます。120 周年行事に向けて寄附も大募集しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

- ・会費は一口 1000 円で二口・2000 円以上の入金をお願い申し上げます。
- ・本誌同封の振込用紙または、次ページ記載の Web 同窓会システムにて入金できます。
- ・卒業年から 4 年間は会費納入の必要はございません。

(19 年度は、16 年度卒、17 年度卒、18 年度卒、19 年度卒の方が納入不要です。)

竹早高校ホームカミングデー6月23日(日)



1 階の百年史コーナーでは、NHK 大河ドラマ「いだてん」の主人公金栗四三先生（東京府立第二高女及び東京府女子師範学校に大正 10 年から昭和 4 年まで在職、竹早チームを指導）の直筆色紙を中心に竹早のスポーツ黄金時代について展示しています。来校の時にぜひお立ち寄り下さい。

篁会役員

〈2019 年 3 月現在〉

会 長	篠 辺 修	1971 年卒	理 事	高 橋 政行	1973 年卒	理 事	佐々木 章子	1976 年卒
名誉会長	小 林 正基	竹早高校 校長	理 事	花 澤 聖子	1973 年卒	理 事	山 口 順子	1976 年卒
			理 事	大 貫 祥子	1974 年卒	理 事	青 山 俊也	1977 年卒
顧 問	松 本 紀子	1941 年卒	理 事	川 戸 直美	1974 年卒	理 事	戸 次 聡史	1982 年卒
顧 問	星 野 昌子	1950 年卒	理 事	姫 野 賢治	1974 年卒	理 事	大 森 美樹	2016 年卒
顧 問	古 関 恵一	1977 年卒	理 事	廣 川 州伸	1974 年卒	理 事	東 島 粹生	2017 年卒
副会長	中 村 光宏	1971 年卒	理 事	三 野 直子	1974 年卒	理 事	仁 科 広貴	2017 年卒
副会長	高 倉 孝生	1971 年卒	理 事	宮 沢 和正	1974 年卒	理 事	堤 谷 美柚	2018 年卒
副会長	薩 田 須美子	1972 年卒	理 事	遠 藤 和彦	1975 年卒	監 事	佐 藤 美紗子	1964 年卒
理 事	古 山 浩之助	1964 年卒	理 事	堀 啓二	1975 年卒	監 事	岩 井 良輔	1976 年卒
理 事	松 澤 由利子	1970 年卒	理 事	助 川 裕爾	1975 年卒	アドバイザー	吉 岡 新	1969 年卒
理 事	塩 見 健	1972 年卒	理 事	田 村 浩之	1975 年卒	アドバイザー	香 川 洋子	1968 年卒
理 事	伊 坂 道子	1972 年卒	理 事	松 永 茂樹	1975 年卒	アドバイザー	岩 野 英子	1968 年卒
理 事	加 藤 幸太郎	1972 年卒	理 事	吉 田 賢治	1975 年卒	アドバイザー	水 田 茂夫	1971 年卒

会報委員会

〈2019 年 3 月現在・数字は卒年〉＊委員長

吉 岡 新	1969 年	吉 田 賢治	1975 年
松 澤 由利子	1970 年	小 林 永治	1976 年
高 倉 孝生	1971 年	佐々木 章子	1976 年
薩 田 須美子	1972 年	山 口 順子	1976 年＊
大 貫 祥子	1974 年	青 山 俊也	1977 年
川 戸 直美	1974 年	杉 渕 明子	1978 年
廣 川 州伸	1974 年	大 森 美樹	2016 年
三 野 直子	1974 年	東 島 粹生	2017 年

会報委員会は会報誌編集のみ担当してきましたが、2019 年度から旧・Web 委員会とともに新たに広報委員会として活動しています。

篁会報



発行日
発行

2019 年 4 月 26 日
篁会

〒112-0002
東京都文京区小石川 4-2-1
東京都立竹早高等学校内
Eメール takamura-kai@gmail.com
https://www.takamura-kai.com
篁会 会報委員会
共立速記印刷株式会社
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋 3-11-24

編 集
印 刷

